



# ナス

## 栽培ポイントとスケジュール

- 育苗には長い日数(60日~70日)と高温管理を必要とするので、苗は買い求める。市販苗は一般に小鉢で小苗なので、一周り大きな鉢に移し、花が咲くぐらいまで再育苗し、十分暖かくなってから定植する。
- 色つやのよい果実をとるために光線が当るように、整枝を入念にし、込み合ってきたら内側の小枝や老化した葉は適宜とり除く。
- 肥切れさせないよう追肥し、一斉に沢山果実がついてきたら小さいうちに収穫して、なり疲れを起こさせないように留意する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トンネル栽培		◆	◆	●	●	■	■	■	■	■	■	■
露地栽培			◆	◆	●	●	■	■	■	■	■	■
露地抑制栽培			◆	◆	●	●	■	■	■	■	■	■

◆種まき ●植えつけ ○トンネル被覆 ■収穫 ✕更新剪定

関東南部以西の例。  
高冷地や寒冷地では  
25~30日遅れとする

2021年3月現在

## ジェイエース登録内容

### 粒剤

作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
ナス	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類	3~6kg/10a (1株当り1~2g)	定植時	1回	作条散布 又は植穴処理	1回

有機リン剤(ジェイエース剤を含む)は長年使用されているため、地域によってはコナガ、アブラムシ類、アザミウマ類などに薬剤抵抗性が発達している可能性があります。そのような地域では、異なる薬剤とローテーション防除を行なってください。

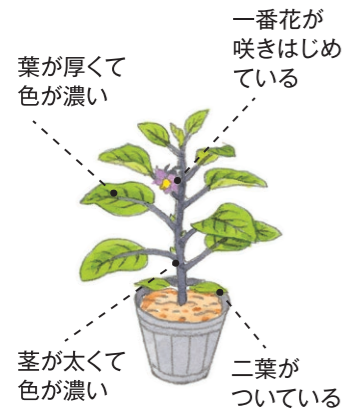
### 1 苗作り

購入した苗は小さいので、大苗になるまで再育苗する



定植時の苗の姿

#### よい苗の見分け方

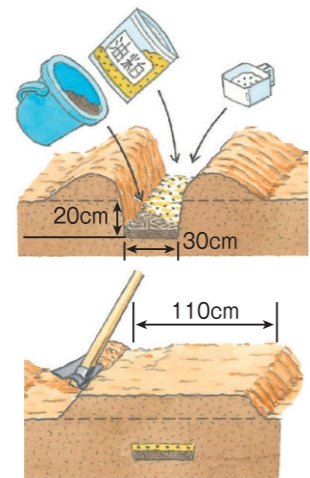


### 2 元肥入れ

植えつけの2週間くらい前に

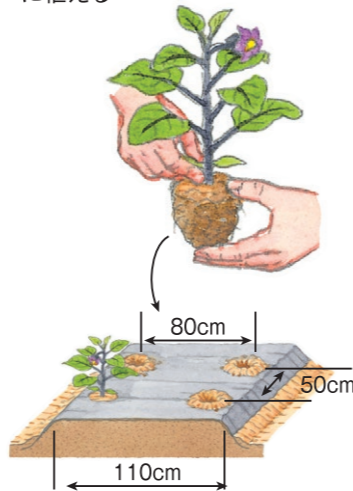
1株当り

推 肥 3~4にぎり  
油 粕 大さじ3  
化成肥料 大さじ1



### 3 植えつけ

暖かい日を選び、鉢に十分灌水して根鉢をくずさないよう丁寧に植える



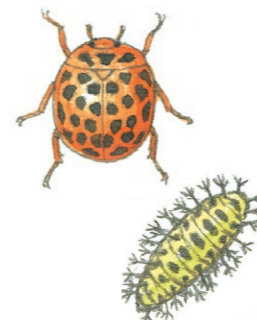
アブラムシ類やオンシツコナジラミを未然に防ぐために定植時に処理する

#### 粒剤



### 4 生育期病害虫防除

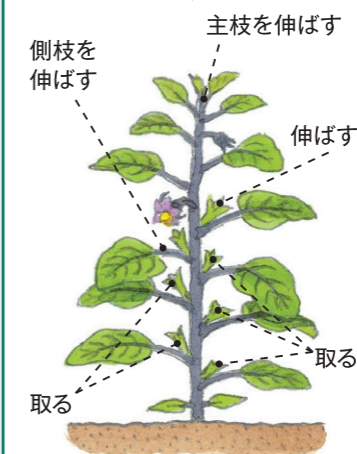
アブラムシ、オオニジュウヤホシテントウ、ダニ類などがつきやすい。葉色に注意して、発生初期に、葉の表裏に入念に薬剤を散布する



オオニジュウヤホシテントウの成虫(上)と幼虫(下)

### 5 整枝・誘引

主枝と側枝2本の3本仕立てに支柱は2本交差させる



### 6 追肥・収穫

15~20日おきに、畝の側方と与え、中耕しながら土を寄せる

1株当り

油 粕 大さじ2  
化成肥料 大さじ2



開花後15~20日くらい



大きくなったらはさみで切り取る株が疲れたら若どりする